

# 直取引出版社の挑戦

～ディスカヴァーが切り拓く電子書籍の新時代～

2023年11月24日

# 自己紹介

現在：パブリッシングカンパニー 制作管理 プロフェッショナル

これまでに携わってきた業務

- ・ 編集者として入社
- ・ 電子書籍の製作・アプリ開発・ECストア開発等に関わる
- ・ 電子書籍の印税計算等のデータ作成
- ・ 直取引販売管理システムの開発・リプレース・クラウド化
- ・ 出版倉庫の移転・新規連携構築（現在の京葉様・河出様体制の確立）
- ・ sbookやブックインタラクティブなど受注サイトの連携構築や運用
- ・ 書誌データやPOSデータに関するデータ運用 など



ディスカヴァー・トゥエンティワン  
自社紹介

# 会社概要



会社名	株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン
主たる事業内容	書籍出版事業
創立	1985年4月1日
代表取締役	伊藤守
取締役社長	谷口奈緒美
従業員	110名
取引書店数	常設直取引店約5000店
資本金	2000万円
出版社コード	924751 88759 7993
出版点数	約3000点（2023年10月現在）



## Mission

21世紀の  
新しい価値基準を提案し  
人と組織の可能性を拓く

---

## Value

視点を变える  
明日を变える

---

Dis + Cover = 覆いはずす

視点を变えて、覆いを外し

それまで気付かれずに在ったものを発見する。

Discoverという社名そのものに  
わたしたちのミッション、バリュー、ビジョン  
すべてが表されています。

すなわち、

21世紀の新しい価値基準を提案し、  
人と組織の可能性を拓く

というミッションのもと、

視点を变える 明日を变える  
という価値を提供していくことです。

まだ気づかれていない  
リソースの発掘

ディスカヴァーの商品は  
いつもどこか新しい

世界中に、組織に、個人の中に隠れたリソース。そうした、まだ見つかっていない隠れた価値・思考・スキル、あるいは魅力を、ディスカヴァーは、35年間培ってきた書籍出版事業を基盤に、その社名の通り発見し、編集し、届けていくことができます。

コンフォート  
デザイン

「デザイン」のあくなき追求が  
選ばれ続ける理由

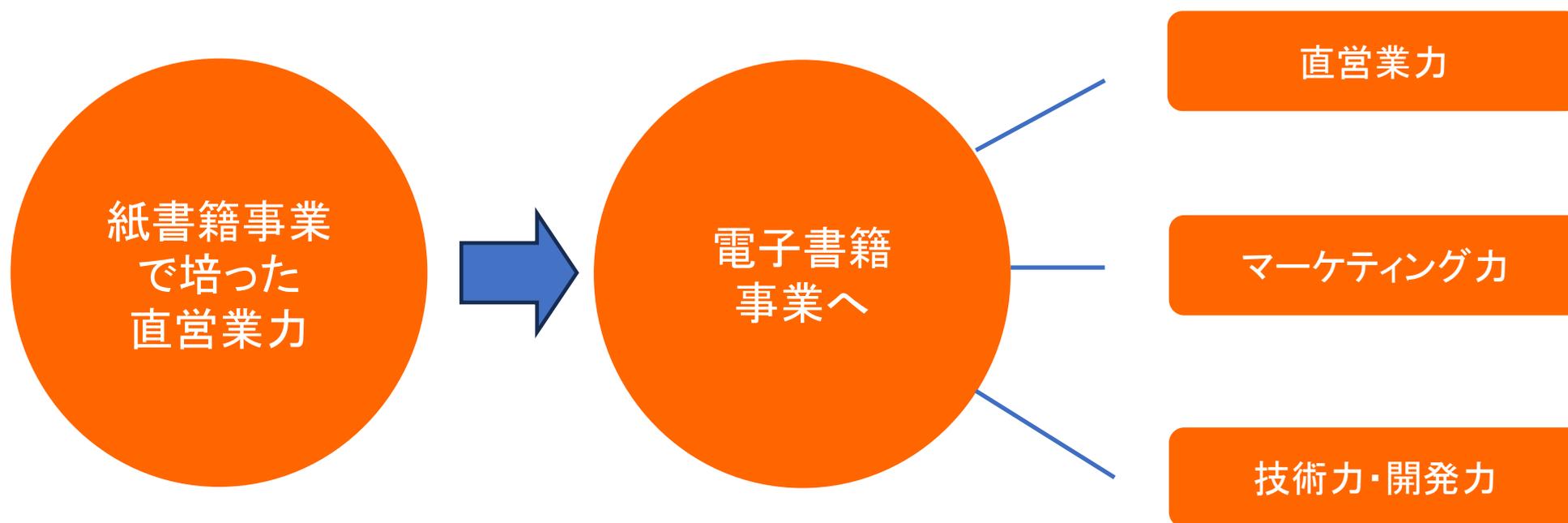
ディスカヴァーの商品デザインは、それに触れたお客様のハートと行動をより強く動かします。それは「述べられるセンテンス」と「パッケージ」が一体となった商品だから。その商品の価値や魅力を引き出す「本当に最適状態とは何か」を追求しているからです。

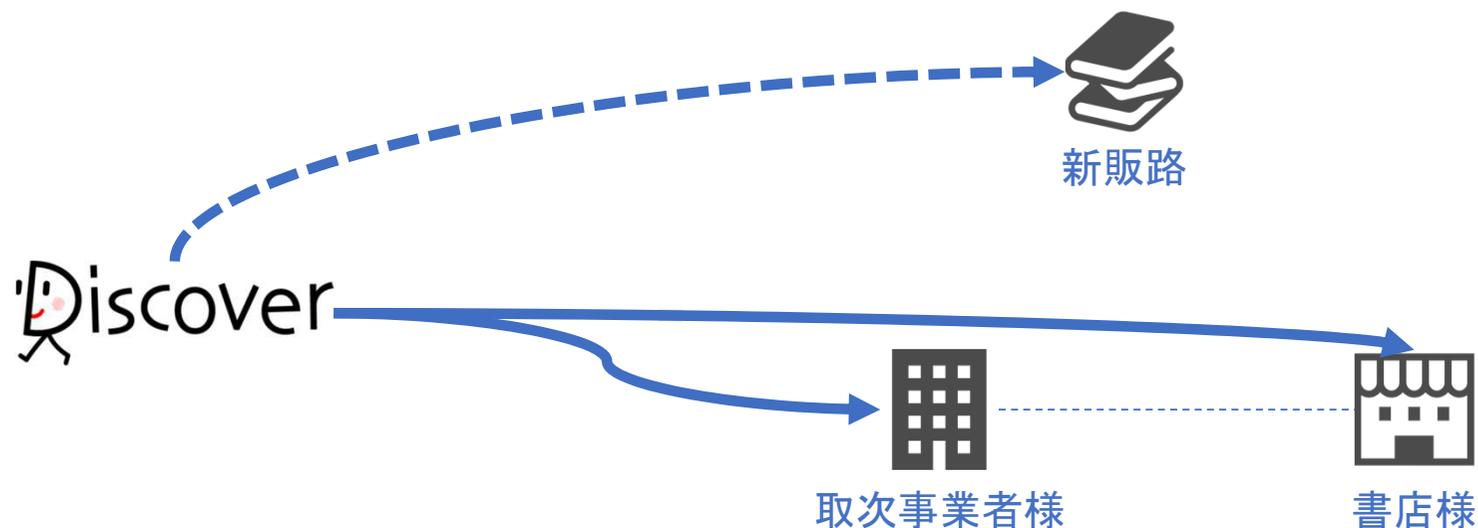
1on1  
コミュニケーション

対話の中から  
新しい価値を生み出す

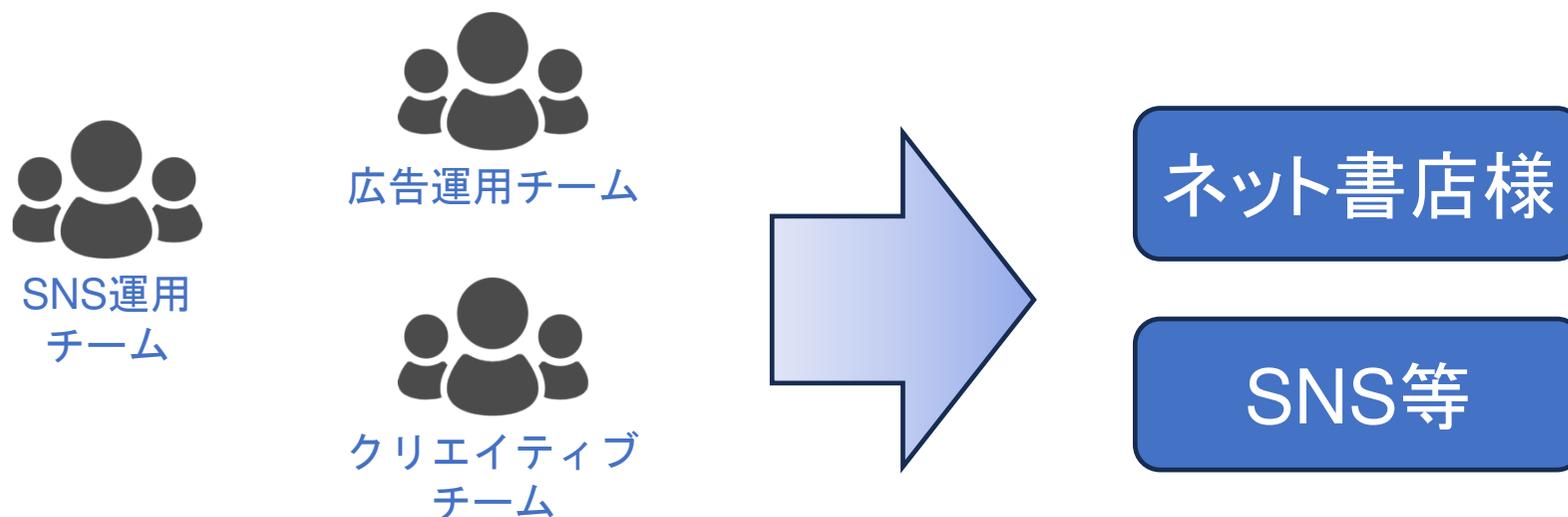
1対1の、人と人とのコミュニケーションを何よりも大事にし、書籍、そして営業活動を通じた、すべてのお客様との、双方向の対話・コミュニケーションこそが、人とハートを動かす原点であり、その対話の中から新しい価値が生まれると常に考え、すべての事業でそれを体現しています。

# ディスカヴァー・トゥエンティワン 電子書籍事業

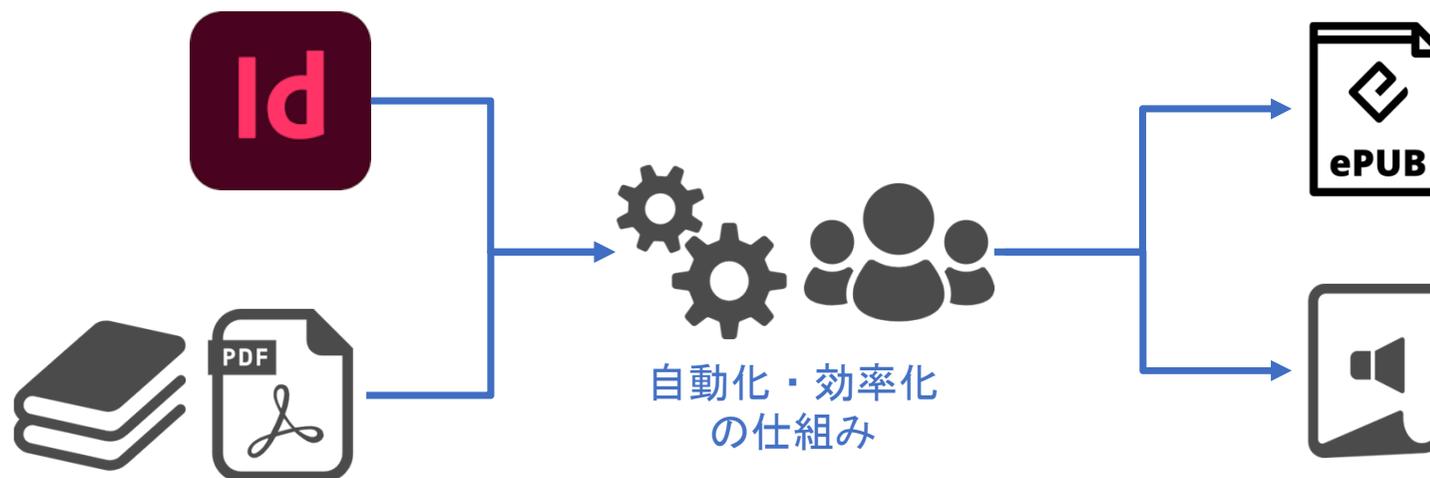




- ①取次事業者様・書店様への直営業
- ②各書店様との直接セール交渉等
- ③新しい販路の開拓と挑戦



- ① Amazon A+、動画広告の自社制作
- ② 各SNS広告の自社主導による運用
- ③ 専門チームによる分析と運用の実施



- ①新刊、全点のサイマル配信実現
- ②底本からのOCRによる電子書籍化
- ③オーディオブック300点以上刊行

※オーディオブックの点数は配信会社様の制作と自社制作の合計です。audiobook.jpでの販売数をもとにしています。

弊社の規模であっても  
すべて自社でコントロールすることで  
激しい時流の変化に対応する能力を得ています

ここからはどうやって実現してきたか  
過去の取り組み  
そして、いまを支える仕組みをご紹介します

ディスカヴァーが  
これまでに挑戦してきた  
電子書籍への取り組みは？

## ディスカヴァーの電子書籍への取り組み①

2009年 ディスカヴァーデジタルブックストアをオープン

2010年 『電子書籍の衝撃』（佐々木俊尚・著）を紙の本と電子書籍同時刊行  
写真集アプリ「STYLE from TOKYO」を発売

2011年 ディスカヴァーデジタルブックストアを新WEBサイトに統合

2014年 電子書籍の提供方法を「EPUBダウンロード方式」に変更。

外部電子書籍ストアが閉鎖時の購入済書籍の無料ダウンロード補償開始

## ディスカヴァーの電子書籍への取り組み①

2015年 小説投稿サイト「novelabo」オープン

2020年 電子書籍の新レーベル「ディスカヴァーebook選書」スタート

社内コンテンツマネジメントシステム「CMDB」自社開発

自社内での電子書籍制作ワークフロー整備開始

2021年 読書体験の“つぎ”を拓く電子書籍レーベル「Discover Next D」スタート

2022年 社内電子印税計算システム「Factory」を自社開発

## 2009年12月 ディスカヴァーデジタルブックストア（当時のリリースより）

### ■Discover Digital Bookの特徴

Discover Digital Bookでは、すでに印刷物として刊行している書籍を一挙に20冊、デジタル書籍として配信を開始。従来のデジタル書籍では、PCのみ、もしくはiPhone/ iPod touchのみで閲覧可能なものがほとんどでしたが、株式会社ボイジャー（本社：東京都渋谷区、代表取締役：萩野正昭）と株式会社セルシス（本社：東京と新宿区、代表取締役社長野崎慎也）が共同開発した「ネット書店型iPhoneモデル」を用いることによって、PCとiphone/ iPod touchの両方にダウンロードすることができます。



## 2010年4月 電子書籍同時発売キャンペーン 「110円 販売キャンペーン」を実施。

サーバーが処理しきれないほどの注文が殺到。  
お客様には申し訳なかったのですが、  
電子書籍への期待の高まりなどを実感したできごと。

先例にとらわれない  
価格の挑戦

## 2010年 iPad版電子写真集『STYLE from TOKYO 2010S/S for iPad』を発売



株式会社ユニークと共同開発したiPhone/iPad用アプリ  
テンプレート

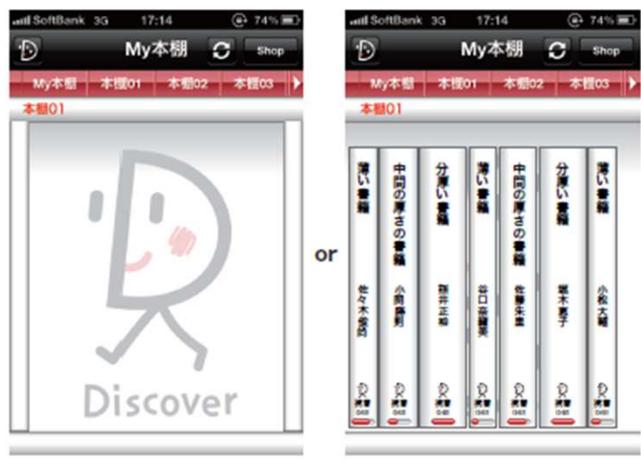
「Discover Visual Reader」を使用したアプリの第1弾発売。

→「高島易断」「ルーヴル美術館 木村泰司の絵画の読み方」などをその後に発売。

2010年 iPad発売 → アプリでの可能性に挑戦。

新しい販路への挑戦

## 2011年 ディスカヴァーデジタルブックストアを新WEBサイトに統合



この時、サイトリニューアルと同時に、  
ePUBのビューアアプリを共同開発していました。

2011年は、ePub3.0の仕様が発表された年でもあります。

appleのiOSのアップデートに伴う  
アプリケーションのアップグレードが負担に。

## 2014年 電子書籍の提供方法を「EPUBダウンロード方式」に変更。

購入した電子書籍のePUBをサイトからダウンロードし、それぞれ好きなビューアで読んでいただく方式へ。

**リフローのテキストであるePUBをダウンロードできるのは当時画期的。**

## 2015年 小説投稿サイト「NOBELABO」オープン

NOVELABO、現在は、他社様へ事業継承しています。



「他のユーザーによる二次創作を許諾することを前提に投稿していただくことで、すべての投稿作品の二次創作を可能としました。」（当時のリリースより）

→作品の広がりを推進するプラットフォームとしての挑戦でした。

→いくつかの作品を電子書籍で販売いたしました

## 挑戦の歴史



- 2020年 電子書籍の新レーベル「ディスカヴァーebook選書」スタート
- 2021年 読書体験の“つぎ”を拓く  
電子書籍レーベル「Discover Next D」スタート



2022年1月 ebook選書の発売点数が300点を突破。

過去に様々な出版社から発行され、いまだ電子書籍化されていない書籍を、出版社・著者のご許諾・ご協力のもと電子書籍化しているのが、ディスカヴァーebook選書です。

ディスカヴァーの電子書籍への挑戦の歴史

①前例にとらわれない挑戦

②自社開発によるノウハウの蓄積

③課題解決力の蓄積

ディスカヴァーが  
蓄積してきた  
課題解決力とは？

電子書籍の点数増加や納品先増加に伴う社内の課題解決

- ① 電子書籍の印税計算システム化
- ② 電子書籍制作の効率化
- ③ 広告運用のノウハウとクリエイティブ

# ①電子書籍の印税計算システム化

## 印税計算システムを自社開発

### これまでの状況・課題

- ・ 管理不十分の書誌情報をExcelで管理
- ・ 形式の異なる売上データを手で整える
- ・ 計算結果を経理Tが目視確認後支払い実施

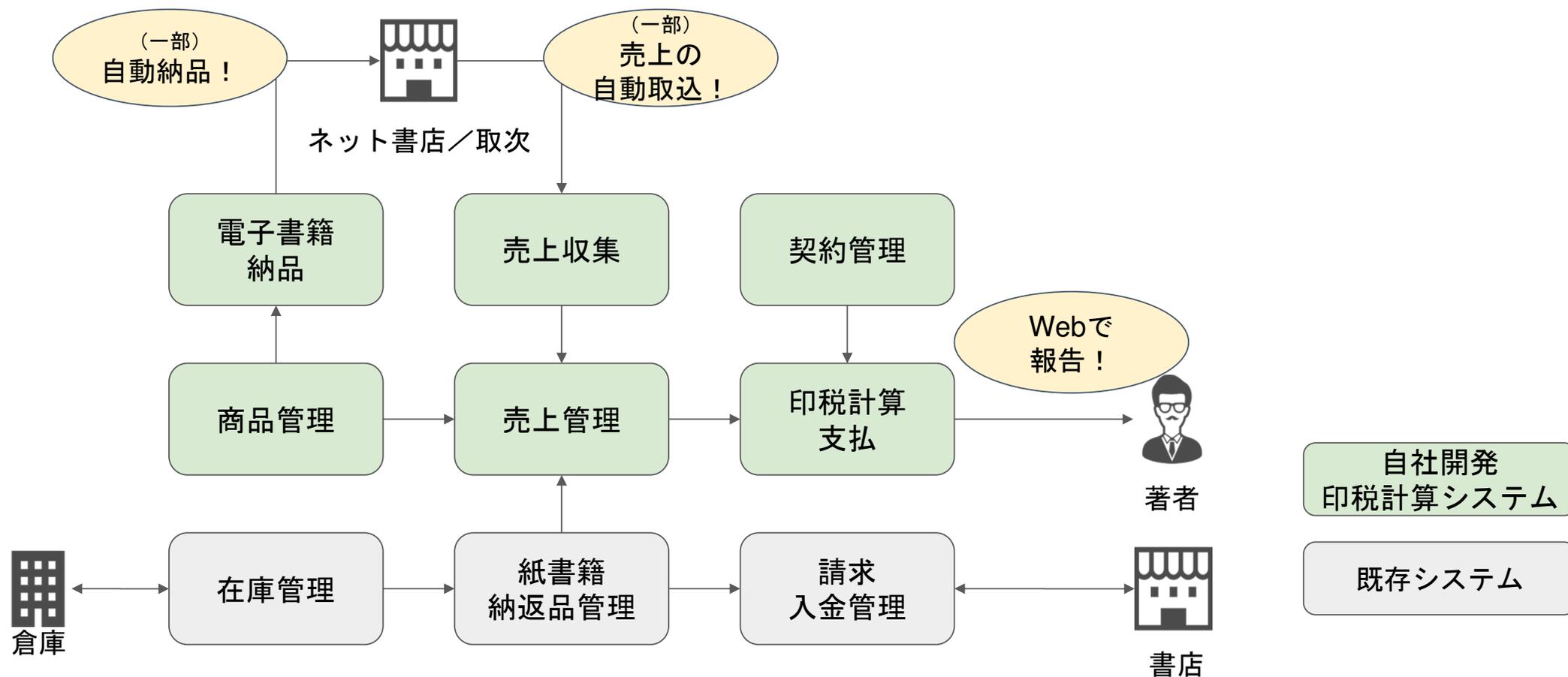


### 印税計算システムにより

- ・ 書誌情報、契約情報の一元管理
- ・ 売上データの自動取込機能でミス軽減
- ・ 印税支払い業務の運用コスト低減

契約条件の管理一元化、実績データの登録簡略化、計算の生産性向上

## ①電子書籍の印税計算システム化



## ②電子書籍制作の効率化

### 自社内での電子書籍制作ワークフローの整備＋自動化

#### これまでの状況・課題

- ・ 慣れた担当者にしかできない作業
- ・ 電子書籍の制作にかかる時間の増加
- ・ 契約から校正まで複雑なフロー



#### ワークフローの整備＋自動化により

- ・ 誰でも作業できる
- ・ 電子書籍制作時間の圧縮
- ・ ワークフローの可視化

自社内制作の改善により、ノウハウの蓄積と生産性の向上を実現

## ③ 広告運用のノウハウとクリエイティブ

### Amazon広告運用とA+ (商品紹介コンテンツ) の内製化

週に1回、親子で書き込むだけで「SAPIX」公式監修!

**自発的に学び続けられる子**に育つ手帳が満を持して登場!

「子どもが全然宿題をしなくていい…」  
「ゲームやスマホをしている時間が長すぎる」とお悩みの方必見!

SAPIXが公式監修した「自発的に学び続けられる子」育つ手帳です。

首都圏随一中学校合格者数ナンバーワンの  
中学受験進学塾  
サピックス

「SAPIX」が、  
自ら学び続ける  
子どもに育てるための  
メソッドを初公開!!

SAPIXだから知っている頭のいい子が家で作っていること

「自発的に学ぶ」メソッドが公開!

歌に自信を持ちたいあなたへ

**101の課題曲とレッスン動画で、どんな曲も思い通りに歌いこなせる!**

富貴のボイス トレーナーが教える 本気で歌がうまくなる本

歌がうまくなるためのステップ

- step1 歌ってみること
- step2 ちょっとしたコツを知ること
- step3 続けること

▶▶▶ 歌うのがもっと楽しくなる!

全人類が絶対に読んでおくべき

「運」と「人生」についての考え方が変わる物語

SNSで紹介多数!

今年読んだ中で1番感動できる本でした!!!

著書累計 100万部突破!

まめのきさん (インスタグラマー) @mamenoki\_book

著者 高多川泰

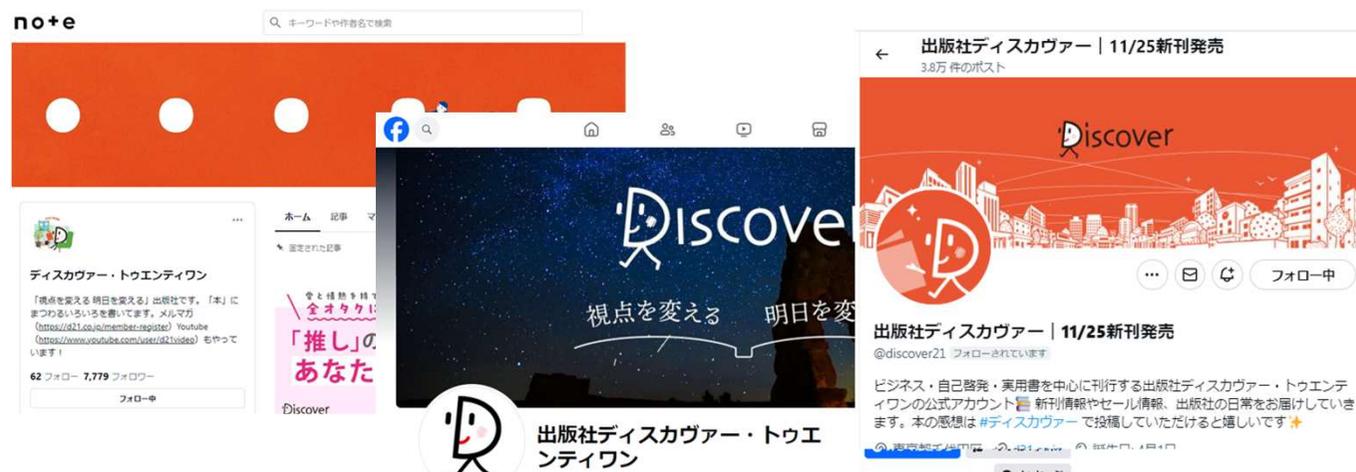
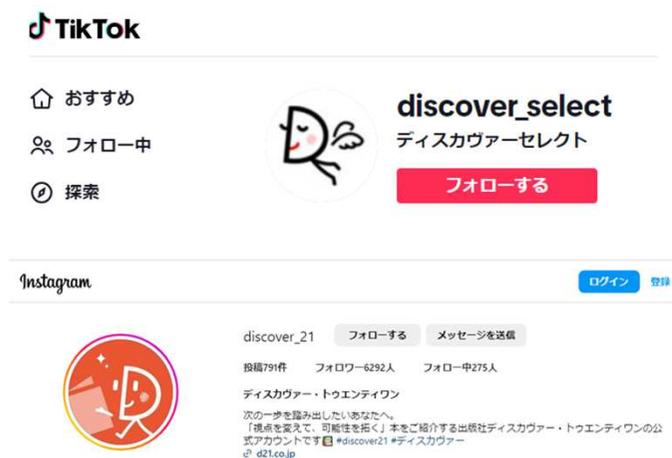
YouTubeチャンネル 学識サロンさん

専門チームによる広告運用と、それを支えるクリエイティブチーム

ディスカヴァーが  
これから  
取り組もうとしていることは？

## オーディオブック・動画・SNSへの取り組み

- ① 自社制作によるオーディオブック化書籍の点数増
- ② 自社内での動画制作体制・ワークフローの充実
- ③ 各SNSでの公式チャンネルの運用・投稿の充実



## 自社開発による製作体制の向上・新技術への挑戦

- ①社内情報の共有強化（Slack等との連携アプリ開発）
- ②A I 技術活用への挑戦
- ③電子書籍制作体制の進化
- ④低コストで制作を行うための仕組み化

詳細はまだ公開できないですが、新技術へ挑戦を続けています

本日はしくみ・概要のみでしたが、

印税の管理機能や運用、  
アマゾンA+、広告動画作成、  
広告運用・マーケティング、

出版社自らの総合力・マーケティング力がこれ  
からの時代のカギと考えています

弊社は、出版社業務のデジタル化・DX推進に寄与したいと考えています。

ご興味のある方は  
ぜひ、下記へお問い合わせください

[d21-bpmsales@d21.co.jp](mailto:d21-bpmsales@d21.co.jp)

